

## 旅行をするドイツ人

ドイツは観光立国です。素敵な街角、宮殿、城、古都もたくさんあります。ドイツには、19世紀にはすでにヨーロッパの富裕層が静養した保養所がたくさんありました。バルト海沿岸には保養所が点在し、また山岳地帯にも新鮮な空気を吸えるところがたくさんあります。たとえば、南ドイツのバーデン・バーデンという町は、温泉保養施設があることでローマ時代から有名でした。

第二次世界大戦後に主流になった団体旅行は、東ドイツでは特に積極的に導入されました。東ドイツの人々は休暇になるとバルト海沿岸にでかけ、キャンプをしたり、国営の保養施設で過ごしたものです。ホテルはほとんど自国民に向けられており、外国人に向けられていたところは多くありませんでした。西ドイツの人々はライン川、バイエルン、北海といった国内の名所のみならず、外国にもよく出かけていきました。イタリア、スイス、スペインは伝統的にドイツ人観光客をたくさん抱えています。スペイン領のマヨルカ島は、とりわけドイツからの観光客が多いところです。旅行を通して、ドイツ人は外国の文化、食事、語彙などを自国に持ち帰ります。こうして西ドイツは東ドイツよりも早く国際的になっていきました。東西ドイツ統一後、旧東ドイツ領だったメクレンブルク・フォアポンメルン州は、その綺麗な湖やバルト海



シュヴェリーン城。メクレンブルク・フォアポンメルン州の有名な観光地のひとつ。

人物が暮らしていたり活躍した場所、名高い建築物を見学したり、有名な生産物の産地を巡ったりするのです。ドイツでは、このようなテーマごとに各地を束ねて「街道」という形でアピールしているものが見られます。有名なものとして、ロマンチック街道とメルヘン街道を挙げる事ができるでしょう。

の存在のおかげで、旅行先として一大ブームを巻き起こしました。ドイツ国内で人気のある旅行地としては、他に数々の世界遺産都市が挙げられます。2018年現在、ドイツ国内の世界遺産指定地は43にのぼり、そのうち3箇所は自然遺産です。ドイツ人は学習旅行も好きで、旅行先の歴史などに触れる旅も好みます。著名な人